



食農連携のコーディネーターを目指す方必見！

農林水産省支援 平成21年度 食農連携機能高度化支援事業

参加  
無料

食農連携のための現地コーディネーター研修

# 食農連携に向けたマーケット・ブランド戦略

～地域ポテンシャルを利活用した商品化のその先へ～

## 参加者募集（先着50名様まで）

日時：平成22年2月18日（木）  
13:30～16:45

場所：北海道立食品加工研究センター  
1階研修室（江別市文京台緑町589-4）

募集対象：食農・農商工・産学官連携の担当者

事業中核機関、都道府県・市区町村  
大学・研究機関、農業団体・農業法人、  
中小企業診断士、コンサルタント等

※申込みは、裏面の参加申込書を、北海道立食品加工研究センターまで、E-MailもしくはFAXにて、お送りください。

## 【研修の狙い】

現在、食をととした地域活性化等を目的とし、農商工連携や食農連携など、『連携』をキーワードとした多くの取組みが各地域を単位に推進されています。

これらの多くは、連携構築を進め新たな商品を開発する生産者や事業者の役割に加え、その活動をフォローし、連携の枠組を差配する地域の技術者やコーディネーターの手腕により、成果達成が大きく左右されると思われまます。

これら現地のコーディネーターには、地域における食農の現状及びその地域を取巻く周辺の概況を理解し、単なる物づくりではなく、戦略的な視点のもと、競争力のある商品開発と連携構築の推進に向け、持続的な活動が必要であるといえます。

この度、(社)食品需給研究センターでは、北海道立食品加工研究センターのご協力を頂き、農林水産省の平成21年度「食農連携機能高度化支援事業」の一環として、売れるための物づくり、開発しようとする商品の磨き方などについて、現在、各地域で活躍されている食農連携コーディネーターを招き、「食農連携のための現地コーディネーター研修」を開催することとなりました。

北海道立食品加工研究センターにて毎月開催されている「ビジネスシーズフォーラム」のマーケティング版として、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

## 【プログラム】

開会 13:30～13:45

講習 13:45～16:30

13:45～15:00

### (1) 消費者の望む商品を開発する

～ヒット商品からニーズをつかむ  
売れている商品に学ぶ、売れる商品の作り方～

#### 和耕経営コンサルタント

代表 山川 茂宏（食農連携コーディネーター）

売れるための物づくり、開発しようとする商品の磨き方などについて、元生協のバイヤー、商品開発担当でかつ、現在、大手スーパーのバイヤー研修を務める講師が時代のつかみ方、売れる商品の作り方を事例を挙げてご案内します。

15:15～16:30

### (2) 地域らしさのブランド戦略

～ブランド構築の全体像  
価値の源泉・デザイン・PR・組織体制まで～

#### ブランドネットワーク インセプト

代表 渋谷 清（食農連携コーディネーター）

農商工連携で商品を開発してそのブランド化を考えると、大切なのは、そのものにターゲットを明確に絞り込める地域らしい特長を付加できたかという点です。それが達成できた時、ブランド化のスピードは格段に速くなります。

質疑 16:30～16:45（終了）

主催：(社)食品需給研究センター、実施協力：北海道立食品加工研究センター

## ■講師のご紹介



### 山川 茂宏 (やまかわ しげひろ)

生活協同組合でバイヤーを経験し、日本中の産地を訪問し、プライベート商品を作ってきました。現在はコンサルタント、研修講師として日本中の食品メーカー、食品流通業、商工会議所、商工会などで業務を行っています。地域活性化のために農商工連携は不可欠だと考えています。地域の明日を拓くためにお手伝いさせていただきます。

#### 【食農連携推進に向けた活動実績】

- 国産大豆を利用した納豆の開発と販売促進
- 群馬県産小麦使用の学校給食用パンの開発 他 多数

#### 【主な著書・執筆物・メディア出演等】

- 中堅食品メーカーにおけるリスクマネジメント 日新火災海上保険 2008年10月
- 食品トレーサビリティ実践講座 JTEX 2004年12月
- 食品の安全対策講座(通信教育テキスト) JTEX 2003年12月 など



### 渋谷 清 (しぶや きよし)

私は、農学部卒業後、食品会社の研究所に入り、6年ほど商品開発の仕事を担当してそのイロハを学びました。そこで、ヒット商品を開発するには中身の良さと勝負する前に外観やイメージの勝負があり、これに勝たなければダメだという貴重な経験を積みました。

その後、大学の文学部に再入学し、欧州で商標制度が整備され始める直前の社会経済史を学んで、CI戦略やブランド・デザイン開発を主テーマとするコンサルタントの世界に入りました。それ以来、約20年この仕事に携わってきましたが、今の地域の課題は、地域産品の特長を再確認してその特長を最も喜んでくださる人を見つけ、その人に届く販路を開拓するという点に尽きると考えています。

#### 【食農連携推進に向けた活動実績】

- 地域ブランド「塚打刃物」のブランドコンセプト、展開、シンボルデザイン等の開発など

#### 【主な著書・執筆物・メディア出演等】

- 「地域を元気にする！ ブランド戦略～成功への発想法」月刊「ガバナンス」(2010年1月号)
- 「企業・商品・地域にガツン！ 別世界をつくる！ ボランチ先生のブランド作戦」(2009年10月出版)
- 「食品会社におけるブランド構築」日本食品機械研究会誌「食品加工技術」(2003年 NO.2) など

※詳しくは、食農連携コーディネーターバンクをご覧ください(<http://www.fmric.or.jp/facobank/index.html>)か、講師の方々が所属される組織のHPをご覧ください。

## 申し込み方法

参加をご希望される方は、**平成22年2月12日(金)**までに、①所属、②連絡先(住所、電話、E-mail)、③氏名をご記入の上、E-mailまたはFAXにて下記宛てにお申込みください。

申込先: **北海道立食品加工研究センター 研究企画係 (担当: 有馬、樽井)**

E-mail: FHKikaku@foodhokkaido.gr.jp / Fax: 011-387-4664

所 属	
住 所	
T E L	( )
E - m a i l	
氏 名	

※ご連絡頂いた個人情報は、本研修の運営以外に使用いたしません。

【実施主体へのお問合せ先】 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3 農業技術会館3F  
社団法人 食品需給研究センター 担当: 調査研究部 松崎(まつざき)、長谷川(はせがわ)  
TEL:03(5567)1991 FAX:03(5567)1960 E-Mail: cluster@fmric.or.jp